

区分レベル	II-A-5
学科専攻名	教務委員会
記載者名	三浦 弥生

	PLAN (計画)	DO (実行)	CHECK (検証)	ACT (改善)
II-A-5(1)	II-A-5 (1) (計画) APは学習成果に対応していることを確認済(令和2年認証評価)であり継続する	II-A-5 (1) (実行) 継続した	◎ II-A-5 (1) (評価) 継続に問題はない	II-A-5 (1) (改善) 改善事項なし
II-A-5(2)	II-A-5 (2) (計画) 学生募集要項にAPを明確に示していることを確認済(令和2年認証評価)であり継続する	II-A-5 (2) (実行) 継続した	◎ II-A-5 (2) (評価) 継続に問題はない	II-A-5 (2) (改善) 改善事項なし
II-A-5(3)	II-A-5 (3) (計画) APは入学前の学習成果の把握・評価を明確にしていること確認済(令和2年認証評価)であり継続する	II-A-5 (3) (実行) 継続した	◎ II-A-5 (3) (評価) 継続に問題はない	II-A-5 (3) (改善) 改善事項なし
II-A-5(4)	II-A-5 (4) (計画) 一般入試でAPに対応するため面接試験を導入する	II-A-5 (4) (実行) 一般入試でAPに対応するため面接試験を導入する	◎ II-A-5 (4) (評価) APに対応していない入学者選抜の方法であった「一般入試」にAPの対応をはかることができた	II-A-5 (4) (改善) 改善事項なし

II-A-5(5)	II-A-5 (5) (計画) 高大連携の観点により、多様な選抜についてそれぞれの選考基準として専攻の「面接評価表」を作成し公正かつ適正に実施していることを確認済(令和2年認証評価)であり継続する	II-A-5 (5) (実行) 継続した	◎	II-A-5 (5) (評価) 継続に問題はない	II-A-5 (5) (改善) 改善事項なし
II-A-5(6)	II-A-5 (6) (計画) 授業料、その他入学に必要な経費を明示していることを確認済(令和2年認証評価)であり継続する	II-A-5 (6) (実行) 継続した	◎	II-A-5 (6) (評価) 継続に問題はない	II-A-5 (6) (改善) 改善事項なし
II-A-5(7)	II-A-5 (7) (計画) アドミッション・オフィスを設置していることを確認済(令和2年認証評価)であり継続する	II-A-5 (7) (実行) 継続した	◎	II-A-5 (7) (評価) 継続に問題はない	II-A-5 (7) (改善) 改善事項なし
II-A-5(8)	II-A-5 (8) (計画)		◎ ・ ○ ・ △	II-A-5 (8) (評価)	II-A-5 (8) (改善)
II-A-5(9)	II-A-5 (9) (計画)	II-A-5 (9) (実行)	◎ ・ ○ ・ △	II-A-5 (9) (評価)	II-A-5 (9) (改善)

区分レベル	II-A-5
学科専攻名	家政専攻
記載者名	三浦 弥生

	PLAN (計画)	DO (実行)	CHECK (検証)	ACT (改善)
II-A-5(1)	II-A-5 (1) (計画) APは学習成果に対応していることを確認済(令和2年認証評価)であり継続する	II-A-5 (1) (実行) 継続した	◎ II-A-5 (1) (評価) 継続に問題はない	II-A-5 (1) (改善) 改善事項なし
II-A-5(2)	II-A-5 (2) (計画) 学生募集要項にAPを明確に示していることを確認済(令和2年認証評価)であり継続する	II-A-5 (2) (実行) 継続した	◎ II-A-5 (2) (評価) 継続に問題はない	II-A-5 (2) (改善) 改善事項なし
II-A-5(3)	II-A-5 (3) (計画) APは入学前の学習成果の把握・評価を明確にしていること確認済(令和2年認証評価)であり継続する	II-A-5 (3) (実行) 継続した	◎ II-A-5 (3) (評価) 継続に問題はない	II-A-5 (3) (改善) 改善事項なし
II-A-5(4)	II-A-5 (4) (計画) 入学者選抜の方法がAPに対応するよう、一般入試の小論文のテーマ設定をAPに沿ったものにする	II-A-5 (4) (実行) 一般入試の小論文のテーマ設定をAPに沿ったものにし、入学者選抜の方法がAPに対応するものにした	◎ II-A-5 (4) (評価) 小論文のテーマ設定をAPに沿ったものにしたことで受験者のAPの理解について確認できた	II-A-5 (4) (改善) 継続する

II-A-5(5)	II-A-5 (5) (計画) 高大連携の観点により、多様な選抜についてそれぞれの選考基準として専攻の「面接評価表」を作成し公正かつ適正に実施していることを確認済(令和2年認証評価)であり継続する	II-A-5 (5) (実行) 継続した	◎	II-A-5 (5) (評価) 継続に問題はない	II-A-5 (5) (改善) 改善事項なし
II-A-5(6)	II-A-5 (6) (計画) 授業料、その他入学に必要な経費を明示していることを確認済(令和2年認証評価)であり継続する	II-A-5 (6) (実行) 継続した	◎	II-A-5 (6) (評価) 継続に問題はない	II-A-5 (6) (改善) 改善事項なし
II-A-5(7)	II-A-5 (7) (計画) アドミッション・オフィスを設置していることを確認済(令和2年認証評価)であり継続する	II-A-5 (7) (実行) 各専攻教員が教務課へ提出、教務課より学生に周知があった	◎	II-A-5 (7) (評価) 継続に問題はない	II-A-5 (7) (改善) 改善事項なし
II-A-5(8)	II-A-5 (8) (計画) 受験の問い合わせに対して適切に対応する(令和2年認証評価より継続)	II-A-5 (8) (実行) 受験の問い合わせに対して、相手の通信ツールに合わせて真摯に対応した	◎	II-A-5 (8) (評価) 継続に問題はない	II-A-5 (8) (改善) 改善事項なし
II-A-5(9)	II-A-5 (9) (計画) APを高等学校関係者の意見も聴取して定期的に点検する(令和2年認証評価より継続)	II-A-5 (9) (実行) 継続した	◎	II-A-5 (9) (評価) 継続に問題はない	II-A-5 (9) (改善) 改善事項なし

区分レベル	II-A-5
学科専攻名	介護福祉専攻
記載者名	太和田 雅美

	PLAN (計画)	DO (実行)	CHECK (検証)	ACT (改善)
II-A-5(1)	II-A-5 (1) (計画) 入学者受入れの方針は学習成果に対応しているか点検する。	II-A-5 (1) (実行) 専攻会の中で学習成果に繋がっているか点検している。	◎	II-A-5 (1) (評価) II-A-5 (1) (改善)
II-A-5(2)	II-A-5 (2) (計画) 学生募集要項に入学者受入れの方針を明確に示しているか点検する。	II-A-5 (2) (実行) 学生募集要項に入学者受入れの方針を明確に示している。	◎	II-A-5 (2) (評価) II-A-5 (2) (改善)
II-A-5(3)	II-A-5 (3) (計画) 入学者受入れの方針は、入学前の学習成果の把握・評価を明確に示しているか点検する。	II-A-5 (3) (実行) 専攻会の中で学習成果に繋がっているか点検している。	◎	II-A-5 (3) (評価) II-A-5 (3) (改善)
II-A-5(4)	II-A-5 (4) (計画) 入学者選抜の方法は、入学者受入れの方針に対応しているか点検する。	II-A-5 (4) (実行) 面接試験により入学者受け入れ方針について確認している。	◎	II-A-5 (4) (評価) II-A-5 (4) (改善)
II-A-5(5)	II-A-5 (5) (計画) 高大接続の観点により、多様な選抜についてそれぞれの選考基準を設定して、公正かつ適正に実施しているか点検する。	II-A-5 (5) (実行) 公正かつ適正に実施している。	◎	II-A-5 (5) (評価) II-A-5 (5) (改善)
II-A-5(6)	II-A-5 (6) (計画)) 授業料、その他入学に必要な経費を明示している。	II-A-5 (6) (実行) 学校案内等に明示している。	◎	II-A-5 (6) (評価) II-A-5 (6) (改善)
II-A-5(7)	II-A-5 (7) (計画) アドミッション・オフィス等を整備している	II-A-5 (7) (実行)	◎	II-A-5 (7) (評価) II-A-5 (7) (改善)
II-A-5(8)	II-A-5 (8) (計画) 受験の問い合わせなどに対して適切に対応している。	II-A-5 (8) (実行)	◎	II-A-5 (8) (評価) II-A-5 (8) (改善)
II-A-5(9)	II-A-5 (9) (計画) 入学者受入れの方針を高等学校関係者の意見も聴取して定期的に点検しているか点検する。	II-A-5 (9) (実行) 高校訪問等の時に聴取する。	△	II-A-5 (9) (評価) コロナで高校訪問の機会がなく、広報課からも報告はなかったため、検証はできていない。 II-A-5 (9) (改善) 状況を見ながら広報課とも連携を図り、高校を訪問して、意見を聞いてくる。

区分レベル	II-A-5
学科専攻名	食物栄養専攻
記載者名	友竹浩之

	PLAN (計画)	DO (実行)	CHECK (検証)	ACT (改善)
II-A-5(1)	II-A-5 (1) (計画) 入学者受け入れの方針が学習成果に対応しているか、点検する。	II-A-5 (1) (実行)	◎ II-A-5 (1) (評価) 教務委員会の中で点検した (会議録)。	II-A-5 (1) (改善) 継続
II-A-5(2)	II-A-5 (2) (計画) 学生募集要項に入学者受け入れの方針が明確に示されているか点検する。	II-A-5 (2) (実行)	◎ II-A-5 (2) (評価) 学生募集要項の作成・校正をとおして点検した。	II-A-5 (2) (改善) 継続
II-A-5(3)	II-A-5 (3) (計画) 入学者受け入れの方針が入学前の学習成果の把握・評価を明確に示しているか、点検する。	II-A-5 (3) (実行)	△ II-A-5 (3) (評価) 教務委員会の中で確認する必要がある。	II-A-5 (3) (改善) 高校側の意見を聞きながら、見直す。
II-A-5(4)	II-A-5 (4) (計画) 入学者選抜の方法が、入学者受け入れの方針に対応しているか、点検する。	II-A-5 (4) (実行)	◎ II-A-5 (4) (評価) 学生募集要項の作成・校正をとおして点検した。	II-A-5 (4) (改善) 継続
II-A-5(5)	II-A-5 (5) (計画) 多様な選抜について、それぞれの選考基準設定して、適性を実施しているか、点検する。	II-A-5 (5) (実行)	◎ II-A-5 (5) (評価) 学生募集要項の作成・校正をとおして点検した。	II-A-5 (5) (改善) 継続
II-A-5(6)	II-A-5 (6) (計画) 授業料、その他入学に必要な経費を明示しているか、点検する。	II-A-5 (6) (実行)	◎ II-A-5 (6) (評価) 学生募集要項の作成・校正をとおして点検した。	II-A-5 (6) (改善) 継続
II-A-5(7)	II-A-5 (7) (計画) アドミッション・オフィス等を整備しているか、点検する。	II-A-5 (7) (実行)	◎ II-A-5 (7) (評価) 拡大教授会の中で点検した (会議録)。	II-A-5 (7) (改善) 継続
II-A-5(8)	II-A-5 (8) (計画) 受験の問い合わせなどに対して適切に対応しているか、点検する。	II-A-5 (8) (実行)	◎ II-A-5 (8) (評価) 広報課との打ち合わせの中で点検した。	II-A-5 (8) (改善) 継続
II-A-5(9)	II-A-5 (9) (計画) 入学者受け入れの方針について、高校関係者に点検してもらう。	II-A-5 (9) (実行)	◎ II-A-5 (9) (評価) 高校進路担当の教員に点検してもらった。	II-A-5 (9) (改善) 継続

区分レベル	II-A-5
学科専攻名	幼児教育学科
記載者名	青木 千恵美

	PLAN (計画)	DO (実行)	CHECK (検証)	ACT (改善)
II-A-5(1)	II-A-5 (1) (計画) APが学修成果に対応しているか、確認する	II-A-5 (1) (実行) 確認した	◎	II-A-5 (1) (評価) II-A-5 (1) (改善) 継続する
II-A-5(2)	II-A-5 (2) (計画) APを募集要項に掲載する	II-A-5 (2) (実行) 掲載した	◎	II-A-5 (2) (評価) II-A-5 (2) (改善) 継続する
II-A-5(3)	II-A-5 (3) (計画) APが入学前の学修成果の把握、評価を示しているか、確認する	II-A-5 (3) (実行) 確認した	◎	II-A-5 (3) (評価) II-A-5 (3) (改善) 継続する
II-A-5(4)	II-A-5 (4) (計画) 入学者選抜の方法とAPが対応しているか確認する	II-A-5 (4) (実行) 確認した	◎	II-A-5 (4) (評価) II-A-5 (4) (改善) 継続する
II-A-5(5)	II-A-5 (5) (計画) 多様な選抜に対し、選考基準を設け、公正かつ適切に実施できるよう、学科内で基準を共有し、実施する	II-A-5 (5) (実行) 実施した	◎	II-A-5 (5) (評価) II-A-5 (5) (改善) 継続する
II-A-5(6)	II-A-5 (6) (計画) 授業料等、入学に必要な経費について、学校案内、学生募集要項に掲載する	II-A-5 (6) (実行) 掲載した	◎	II-A-5 (6) (評価) II-A-5 (6) (改善) 継続する
II-A-5(7)	II-A-5 (7) (計画) 総合型選抜入試を実施する	II-A-5 (7) (実行) 実施した	◎	II-A-5 (7) (評価) II-A-5 (7) (改善) 継続する
II-A-5(8)	II-A-5 (8) (計画) 受験の問い合わせに対して、入試事務局と連携をはかり、対応できるようにする	II-A-5 (8) (実行) 対応した	◎	II-A-5 (8) (評価) II-A-5 (8) (改善) 継続する
II-A-5(9)	II-A-5 (9) (計画)	II-A-5 (9) (実行)	○	II-A-5 (9) (評価) 広報課に確認する必要がある II-A-5 (9) (改善)

区分レベル	II-A-5
学科専攻名	看護学科
記載者名	登内 芳子

	PLAN (計画)	DO (実行)		CHECK (検証)	ACT (改善)
II-A-5(1)	II-A-5 (1) (計画) 入学者受入れの方針は学習成果に対応しているか確認する。	II-A-5 (1) (実行) 学科の各系会議、学科会議で確認した。	◎	II-A-5 (1) (評価)	II-A-5 (1) (改善)
II-A-5(2)	II-A-5 (2) (計画) 学生募集要項に入学者受入れの方針を明確に示しているか確認する。	II-A-5 (2) (実行) 学科長と各系代表者で確認した。	◎	II-A-5 (2) (評価)	II-A-5 (2) (改善)
II-A-5(3)	II-A-5 (3) (計画) 入学者受入れの方針は、入学前の学習成果の把握・評価を明確に示しているか確認する。	II-A-5 (3) (実行) 学科の各系会議、学科会議で確認した。	◎	II-A-5 (3) (評価)	II-A-5 (3) (改善)
II-A-5(4)	II-A-5 (4) (計画) 入学者選抜の方法は、入学者受入れの方針に対応しているか確認する。	II-A-5 (4) (実行) 全てに筆記試験(小論文を含む)と面接を行い、受け入れ方針に適しているか評価した。	◎	II-A-5 (4) (評価)	II-A-5 (4) (改善)
II-A-5(5)	II-A-5 (5) (計画) 高大接続の観点からも、公正かつ適正に入学試験を実施できているか確認する。	II-A-5 (5) (実行) 学科の各系会議、学科会議で確認した。	◎	II-A-5 (5) (評価)	II-A-5 (5) (改善)
II-A-5(6)	II-A-5 (6) (計画) 授業料、その他入学に必要な経費を明示しているか確認する。	II-A-5 (6) (実行) 入学に必要な経費について、担当者がそれぞれ検討した上で、各系会議・学科会議で確認した。	◎	II-A-5 (6) (評価)	II-A-5 (6) (改善)

II-A-5(7)	II-A-5 (7) (計画)	II-A-5 (7) (実行)	◎ ・ ○ ・ △	II-A-5 (7) (評価)	II-A-5 (7) (改善)
II-A-5(8)	II-A-5 (8) (計画) 受験の問い合わせなどに対して適切に対応する。	II-A-5 (8) (実行) オープンキャンパスや進学ガイダンスなどに対応した。電話などで問い合わせがあった場合にも個別対応を行った。	◎	II-A-5 (8) (評価)	II-A-5 (8) (改善)
II-A-5(9)	II-A-5 (9) (計画) 入学者受入れの方針を高等学校関係者の意見も聴取して毎年点検する。	II-A-5 (9) (実行) 高校訪問した際に進路担当者や姉妹校の教員に意見を聞いた。	◎	II-A-5 (9) (評価) 特に検討事項はなかった。	II-A-5 (9) (改善) 継続する。

区分レベル	II-A-6
学科専攻名	教務委員会
記載者名	三浦 弥生

	PLAN (計画)	DO (実行)	CHECK (検証)	ACT (改善)
II-A-6(1)	II-A-6 (1) (計画) 学習成果の具体性があることを確認済(令和2年 認証評価)であり継続する	II-A-6 (1) (実行) 継続した	◎ II-A-6 (1) (評価) 継続に問題はない	II-A-6 (1) (改善) 改善事項なし
II-A-6(2)	II-A-6 (2) (計画) 学習成果は一定期間内に獲得可能であることを 確認済(令和2年認証評価)であり継続する	II-A-6 (2) (実行) 継続した	◎ II-A-6 (2) (評価) 継続に問題はない	II-A-6 (2) (改善) 改善事項なし
II-A-6(3)	II-A-6 (3) (計画) 学習成果は成績評価、GPA、国家資格・免許・ 資格の取得等において測定可能であることを確 認済(令和2年認証評価)であり継続する	II-A-6 (3) (実行) 継続した	◎ II-A-6 (3) (評価) 継続に問題はない	II-A-6 (3) (改善) 改善事項なし

区分レベル	II-A-6
学科専攻名	家政専攻
記載者名	三浦 弥生

	PLAN (計画)	DO (実行)	CHECK (検証)	ACT (改善)
II-A-6(1)	II-A-6 (1) (計画) 学習成果の具体性があることを確認済(令和2年 認証評価)であり継続する	II-A-6 (1) (実行) 継続した	◎ II-A-6 (1) (評価) 継続に問題はない	II-A-6 (1) (改善) 改善事項なし
II-A-6(2)	II-A-6 (2) (計画) 学習成果は2年間の在学期間内で獲得可能である こと、また意欲のある学生は複数分野を学べる ことを確認済(令和2年認証評価)である継続する	II-A-6 (2) (実行) 継続した	◎ II-A-6 (2) (評価) 継続に問題はない	II-A-6 (2) (改善) 改善事項なし
II-A-6(3)	II-A-6 (3) (計画) 学習成果は成績評価、GPA、免許・資格の取 得、卒業制作の作品評価において測定可能であ ることを確認済(令和2年認証評価)であり継続す る	II-A-6 (3) (実行) 継続した	◎ II-A-6 (3) (評価) 継続に問題はない	II-A-6 (3) (改善) 改善事項なし

区分レベル	II-A-6
学科専攻名	介護福祉専攻
記載者名	太和田 雅美

	PLAN (計画)	DO (実行)	CHECK (検証)	ACT (改善)
II-A-6(1)	II-A-6 (1) (計画) 学習成果に具体性があるか点検する。	II-A-6 (1) (実行) 学習成果としての介護福祉士資格取得100%であった。	◎ II-A-6 (1) (評価)	II-A-6 (1) (改善)
II-A-6(2)	II-A-6 (2) (計画) 学習成果は一定期間内で獲得可能であるか点検する。	II-A-6 (2) (実行) 介護福祉士資格取得100%で2年間で獲得できるよう計画できた。	◎ II-A-6 (2) (評価)	II-A-6 (2) (改善)
II-A-6(3)	II-A-6 (3) (計画) 学習成果は測定可能であるか点検する。	II-A-6 (3) (実行) 資格取得率で測定できた。	◎ II-A-6 (3) (評価)	II-A-6 (3) (改善)

区分レベル	II-A-6
学科専攻名	食物栄養専攻
記載者名	友竹浩之

	PLAN (計画)	DO (実行)	CHECK (検証)	ACT (改善)
II-A-6(1)	II-A-6 (1) (計画) 学科専攻課程の学習成果に具体性があるか点検する。	II-A-6 (1) (実行)	◎ II-A-6 (1) (評価) 教務委員会の中で点検した (会議録)。	II-A-6 (1) (改善) 継続
II-A-6(2)	II-A-6 (2) (計画) 学習成果は一定期間内で獲得可能であるか、点検する。	II-A-6 (2) (実行)	◎ II-A-6 (2) (評価) 教務委員会の中で点検した (会議録)。	II-A-6 (2) (改善) 継続
II-A-6(3)	II-A-6 (3) (計画) 学習成果は測定可能であるか、点検する。	II-A-6 (3) (実行)	◎ II-A-6 (3) (評価) 教務委員会の中で点検した (会議録)。	II-A-6 (3) (改善) 継続

区分レベル	II-A-6
学科専攻名	看護学科
記載者名	登内 芳子

	PLAN (計画)	DO (実行)	CHECK (検証)	ACT (改善)
II-A-6(1)	II-A-6 (1) (計画) 学習成果に具体性があるか毎年確認する。	II-A-6 (1) (実行) 学科の各系会議、学科会議で確認した。	◎	II-A-6 (1) (評価) II-A-6 (1) (改善)
II-A-6(2)	II-A-6 (2) (計画) 一定期間に単位を習得できない学生に対して、科目担当者を中心に、課題及びそのために必要な具体的な取り組み方法について面談を重ねながら支援する。その他、不安があったり相談したい学生に対しては、アドバイザー、担当アドバイザー、ゼミ教員などが随時相談にのっていく。	II-A-6 (2) (実行) 今年度も単位の獲得が難しい学生がいた。計画通りに、今年度の学生に対しても面談を重ね、相談に乗ったり、指導・助言もしたりしてきた。それぞれの学生の理由は異なっており、その学生の状況に合わせて関わってきた。	○	II-A-6 (2) (評価) 単位を獲得できない学生は、期間の問題だけではなく、他の事情を抱えている者も多い。今年度も、それぞれの学生が、納得してその後の方針を決められるように関わることができたと考ええる。しかし、学生の状況は様々で、時間がかかることも多いため難しい点が多い。 II-A-6 (2) (改善) 今後も学生個々の状況に合わせて、また教員同志で連携も図りながら対応していく。
II-A-6(3)	II-A-6 (3) (計画) 学習成果は測定可能であるか(アセスメントポリシー)を確認する。 ・卒業率、就職率、進学率 ・成績、レポートや自己評価 ・国家試験合格率 ・就職先からの評価	II-A-6 (3) (実行) 学科の各系会議、学科会議で確認した。	◎	II-A-6 (3) (評価) II-A-6 (3) (改善)

区分レベル	II-A-7
学科専攻名	教務委員会
記載者名	三浦 弥生

	PLAN (計画)	DO (実行)	CHECK (検証)	ACT (改善)
II-A-7(1)	II-A-7 (1) (計画) 学習成果の獲得状況をデータを用いて測定する 仕組みとしてGPA分布、単位取得率、学位取得 率、資格試験や国家試験の合格率、ポートフォ リオ、ルーブリック分布を活用する(令和2年認 証評価より継続)	II-A-7 (1) (実行) 継続した	◎ II-A-7 (1) (評価) 継続に問題はない	II-A-7 (1) (改善) 改善事項なし
II-A-7(2)	II-A-7 (2) (計画) 学習成果の獲得状況をデータを用いて測定する 仕組みとして在籍率、卒業率、就職率を活用す る(令和2年認証評価より継続)	II-A-7 (2) (実行) 継続した	◎ II-A-7 (2) (評価) 継続に問題はない	II-A-7 (2) (改善) 改善事項なし
II-A-7(3)	II-A-7 (3) (計画) 学習成果の獲得状況(授業改善アンケート結果 及び学修時間、就職状況)を本学Webサイトで 公表する(令和2年認証評価より継続)	II-A-7 (3) (実行) 継続した	◎ II-A-7 (3) (評価) 継続に問題はない	II-A-7 (3) (改善) 改善事項なし

区分レベル	II-A-7
学科専攻名	家政専攻
記載者名	三浦 弥生

	PLAN (計画)	DO (実行)	CHECK (検証)	ACT (改善)
II-A-7(1)	II-A-7 (1) (計画) 学習成果の獲得状況をデータを用いて測定する仕組みとしてGPA分布、単位取得率、学位取得率、免許・資格試験の合格率、学習成果ノート(ポートフォリオ)、学習成果評価表(ルーブリック分布)を活用する(令和2年認証評価より継続)	II-A-7 (1) (実行) 継続した	◎ II-A-7 (1) (評価) 継続に問題はない	II-A-7 (1) (改善) 改善事項なし
II-A-7(2)	II-A-7 (2) (計画) 学習成果の獲得状況をデータを用いて測定する仕組みとして在籍率、卒業率、就職率を活用する(令和2年認証評価より継続)	II-A-7 (2) (実行) 継続した	◎ II-A-7 (2) (評価) 継続に問題はない	II-A-7 (2) (改善) 改善事項なし
II-A-7(3)	II-A-7 (3) (計画) 学習成果の獲得状況を(1)(2)に基づき評価し、本学Webサイトで公表する(令和2年認証評価より継続)	II-A-7 (3) (実行) 継続した	◎ II-A-7 (3) (評価) 継続に問題はない	II-A-7 (3) (改善) 改善事項なし

区分レベル	II-A-7
学科専攻名	介護福祉専攻
記載者名	太和田 雅美

	PLAN (計画)	DO (実行)	CHECK (検証)	ACT (改善)
II-A-7(1)	II-A-7 (1) (計画) GPA分布、単位取得率、学位取得率、資格試験や国家試験の合格率、学生の業績の集積 (ポートフォリオ)、ルーブリック分布などを活用しているか点検する。	II-A-7 (1) (実行) 国家試験の合格率で振り返りを行い次年度の教育方法を検討している。	◎	II-A-7 (1) (評価) II-A-7 (1) (改善)
II-A-7(2)	II-A-7 (2) (計画) 学生調査や学生による自己評価、同窓生への調査、インターンシップや留学などへの参加率、大学編入学率、在籍率、卒業率、就職率などを活用している。	II-A-7 (2) (実行) 卒業時の到達目標に対してに自己評価を次年度の教育方法に活用している。	◎	II-A-7 (2) (評価) II-A-7 (2) (改善)
II-A-7(3)	II-A-7 (3) (計画) 学習成果を量的・質的データに基づき評価し、公表しているか点検する。	II-A-7 (3) (実行) 介護福祉士資格取得率、就職率、卒業率は公表した。すべて公表しているとはいえない。	○	II-A-7 (3) (評価) 質的データの分析が不足しており、公表には至っていない。 II-A-7 (3) (改善) 量的データと併せて質的データをどのように評価して公表していくのか検討する。

区分レベル	II-A-7
学科専攻名	食物栄養専攻
記載者名	友竹浩之

	PLAN (計画)	DO (実行)	CHECK (検証)	ACT (改善)
II-A-7(1)	II-A-7 (1) (計画) GPA分布、単位取得率、学位取得率、資格試験や国家試験の合格率などを学習成果の獲得状況の測定のために活用しているか、点検する。	II-A-7 (1) (実行)	◎ II-A-7 (1) (評価) 教務委員会の中で点検した。	II-A-7 (1) (改善) 継続
II-A-7(2)	II-A-7 (2) (計画) 学生調査や学生による自己評価、大学編入学率、在籍率、卒業率、就職率などを学習成果の獲得状況の測定のために活用しているか、点検する。	II-A-7 (2) (実行)	◎ II-A-7 (2) (評価) 教務委員会の中で点検した。	II-A-7 (2) (改善) 継続
II-A-7(3)	II-A-7 (3) (計画) 学習成果を量的・質的データに基づき評価し、公表しているか、点検する。	II-A-7 (3) (実行)	○ II-A-7 (3) (評価) 在籍率、卒業率、就職率などについては公表した。	II-A-7 (3) (改善) 評価内容を公表する方法について、教務委員が引き続き検討する。

区分レベル	II-A-7
学科専攻名	幼児教育学科
記載者名	青木 千恵美

	PLAN (計画)	DO (実行)	CHECK (検証)	ACT (改善)
II-A-7(1)	II-A-7 (1) (計画) 学修成果を把握するための「履修カルテ」の見直しを行う (継続)	II-A-7 (1) (実行) 各科目の到達目標に対する自己評価を、記述式から3段階による評価および残された課題に関する記述の2項目に改定した令和4年、2年後期、保育・教職実践演習にて、3段階の自己評価をグラフ化し、見える化を試みた。	○ II-A-7 (1) (評価) 学生の個々の学修成果の到達状況を把握し教育内容に十分に反映するサイクルが構築されているとは言えない	II-A-7 (1) (改善) 「履修カルテ」の活用方法の検討 (教務委員を中心に、R4前期中) 継続
II-A-7(2)	II-A-7 (2) (計画) 質的データとしての卒業後アンケートによる評価を基にし、授業内容に反映できるようにする	II-A-7 (2) (実行) 卒業後アンケートによる評価を学科教員で共有し、特に望まれる保育者像、ニーズに関する内容を共有した	○ II-A-7 (2) (評価) 質的データとしての卒業後評価アンケートの活用が十分にできているとは言えない	II-A-7 (2) (改善) 継続する
II-A-7(3)	学修成果の量的データの公表として、就職率、就職先を学校案内、HPに掲載する	II-A-7 (3) (実行) 掲載した	○ II-A-7 (3) (評価) 量的データとして、就職率、就職先の公表を行っている。質的データについては何を用いて、どのように公表することかできるのか、検討が必要	量的データの公表を継続する 質的データについては何を用いて、どのように公表することができるのか、検討が必要

区分レベル	II-A-7
学科専攻名	看護学科
記載者名	登内 芳子

	PLAN (計画)	DO (実行)	CHECK (検証)	ACT (改善)
II-A-7(1)	II-A-7 (1) (計画) 学修成果の獲得状況の評価について、GPA分布、単位取得率、学位取得率、資格試験や国家試験の合格率、学生の業績の集積（ポートフォリオ）、ルーブリック分布などを活用する。	II-A-7 (1) (実行) 学科教務委員会を中心に、学習成果の獲得について確認した。また、卒業認定会議・進級判定会議でも単位取得率を確認した。	◎ II-A-7 (1) (評価)	II-A-7 (1) (改善)
II-A-7(2)	II-A-7 (2) (計画) 学修成果の獲得状況について、進学率、大学編入学率、在籍率、卒業率、就職率などを活用し評価する。	II-A-7 (2) (実行) 学科の各系会議、学科会議で確認した。	◎ II-A-7 (2) (評価)	II-A-7 (2) (改善)
II-A-7(3)	II-A-7 (3) (計画) 国家試験合格者をウェブサイトなどで公表する。	II-A-7 (3) (実行) 国家試験合格者をウェブサイトや、オープンキャンパス、高校訪問等で公表した。	◎ II-A-7 (3) (評価)	II-A-7 (3) (改善)

区分レベル	II-A-8
学科専攻名	家政専攻
記載者名	三浦 弥生

	PLAN (計画)	DO (実行)	CHECK (検証)	ACT (改善)
II-A-8(1)	II-A-8 (1) (計画) 卒業生の進路先からの評価を「卒業後評価アンケート」を用いて聴取する(令和2年認証評価より継続)	II-A-8 (1) (実行) 継続した	◎ II-A-8 (1) (評価) 継続に問題はない	II-A-8 (1) (改善) 改善事項なし
II-A-8(2)	II-A-8 (2) (計画) (1)の結果を学習成果の点検に活用する(令和2年認証評価より継続)	II-A-8 (2) (実行) 専攻会(slack)により協議した	◎ II-A-8 (2) (評価) 継続に問題はない	II-A-8 (2) (改善) 改善事項なし

区分レベル	II-A-8
学科専攻名	介護福祉専攻
記載者名	太和田 雅美

	PLAN (計画)	DO (実行)	CHECK (検証)	ACT (改善)	
II-A-8(1)	II-A-8 (1) (計画) 卒業生の進路先からの評価を聴取している。	II-A-8 (1) (実行) 到達目標に沿った卒業生アンケートを実施している。	◎	II-A-8 (1) (評価)	II-A-8 (1) (改善)
II-A-8(2)	II-A-8 (2) (計画) 聴取した結果を学習成果の点検に活用しているか。	II-A-8 (2) (実行) アンケート結果を振り返り学習成果に活用できた。	◎	II-A-8 (2) (評価)	II-A-8 (2) (改善) 一昨年からの検案事項であるコミュニケーション力の強化を検討する必要がある。日頃より専攻において対学生・教員間でも言葉使いに配慮していくよう改善する。

区分レベル	II-A-8
学科専攻名	食物栄養専攻
記載者名	友竹浩之

	PLAN (計画)	DO (実行)	CHECK (検証)	ACT (改善)
II-A-8(1)	II-A-8 (1) (計画) 卒業生の進路先からの評価を聴取しているか、点検する。	II-A-8 (1) (実行)	◎ II-A-8 (1) (評価) 学生委員会の中で点検した (会議録)。	II-A-8 (1) (改善) 継続
II-A-8(2)	II-A-8 (2) (計画) 聴取した結果を学習成果の点検に活用しているか、確認する。	II-A-8 (2) (実行)	△ II-A-8 (2) (評価) 聴取した結果については確認したが、学習成果の点検には活用できていない。	II-A-8 (2) (改善) 聴取内容をふまえて、学習成果を点検する。

区分レベル	II-A-8
学科専攻名	幼児教育学科
記載者名	青木 千恵美

	PLAN (計画)	DO (実行)	CHECK (検証)	ACT (改善)
II-A-8(1)	II-A-8(1) (計画) 進路先の保育所、認定こども園、施設等に卒業後評価アンケートを送付し、回答を依頼する。	II-A-8(1) (実行) R5、2月卒業後評価アンケートを送付した。	◎ II-A-8(1) (評価) 就職先への卒業後評価アンケートと継続して行っている	II-A-8(1) (改善) 継続する
II-A-8(2)	II-A-8(2) (計画) 卒業後評価アンケートの回答を学科内教員で共有し、学修成果の点検に活用する	II-A-8(2) (実行) 令和4年12月 卒業後アンケートの回答結果を学科内で確認した。授業の取り組みの様子等と合わせて意見交換を行い、教育、指導における基本的な項目等について確認した。	○ II-A-8(2) (評価) 卒業後評価アンケートの結果活用が十分にできているとは言えない	II-A-8(2) (改善) I-B-1(3)記載 卒業後評価アンケート回答活用の検討 アンケート回答の共有、意見交換を継続する

区分レベル	II-A-8
学科専攻名	看護学科
記載者名	登内 芳子

	PLAN (計画)	DO (実行)	CHECK (検証)	ACT (改善)
II-A-8(1)	II-A-8 (1) (計画) 「卒業後評価アンケート」を今年度も実施する。	II-A-8 (1) (実行) 今年度も「卒業後評価アンケート」を今年度も実施した。	◎ II-A-8 (1) (評価)	II-A-8 (1) (改善)
II-A-8(2)	II-A-8 (2) (計画) 聴取した結果を学習成果の点検に活用する。	II-A-8 (2) (実行) アンケート結果を学科会議で共有した。	◎ II-A-8 (2) (評価)	II-A-8 (2) (改善)